



会場風景



講演中の萩原氏

5月度研修会速報

研修委員会

5月度の研修会は恒例のISSCC（国際固体回路コンファレンス）の概況について識者による講演をお願いしておりますが今年はソニーのフェローでIEEE フェロー、ISSCCのアジア委員としても国際的ご活躍の萩原 良昭 様（ソニー、主幹技師）にご講演をお願い致しました。例年はISSCCの報告会は参加者が35名程度であったのが今年は60名を越えており会場は満席の盛況となりました。参会者の方々に厚くお礼申し上げます。

萩原 様はご講演の中でISSCCの発足当時にまで遡ってその経緯を説明頂き特にソニーの岩間専務（故人）が1954年のISSCCでご活躍の様子も伺うことができました。ISSCCは集積回路技術のオリンピックとも言われ米国、ヨーロッパ、アジアの各メーカーや大学から出される投稿論文の選考に当たって激しい競争が展開されていることは会員の皆様もご存知の通りです。萩原様はアジア地域の委員としてこの論文選考にも参画されておりそのご苦労話の一端を伺うことができました。今年は昨年に続いて米国が一位、日本が二位、そして台湾が三位というトップ3の状況は変わりなく日本の企業では今年度はソニー、東芝、NEC、松下、日立、富士通からの論文が採択されたとのこと。なお企業としての採択論文集ではヨーロッパのインフィニオンが一位を占めているのが注目されます。

またソニー、東芝、IBMの共同開発によるCellチップの概要もご紹介がありましたがソニーではチップ開発とコンピュータシステム開発の両面からリアルタイムシステムの商品化を目指し、障害者福祉のためのコンピューティングにも貢献したいとのビジョンも伺うことができました。

なお萩原 様のご講演の詳細は当協会の機関紙Encore誌に掲載される予定です。今回の研修会に参加頂けなかった会員に皆様お楽しみにお待ち下さい。

研修委員会では当協会の事務局と緊密に協力しながら会員の皆様にご満足頂けるような研修会、特別講演会の開催を目指して鋭意努力をしております。

引き続き皆様のご支援のほどよろしくお願い致します。